

2025年8月25日

各位

会社名 株式会社 ケイブ
代表者名 代表取締役社長 CEO 秋田 英好
(コード番号：3760、東証スタンダード)
問合せ先 代表取締役 CFO 伊藤 裕章
(TEL. 03-6820-8176)

第31回定時株主総会 株主の皆様が関心をお持ちと思われる事項について

2025年8月28日(木)に開催する第31回定時株主総会における株主の皆様が関心をお持ちと思われる事項につきまして掲載いたします。

記

1. 株主還元について

当社は、配当による利益配分につきましては、将来の事業展開と経営体質の強化を図るために必要な内部留保を確保しながら、安定的かつ継続的な利益配分を実行することを基本方針として、業績や財務状況等を総合的に勘案して決定することとしております。

内部留保資金につきましては、今後の新規プロダクトの開発や新規事業への投資など将来の企業価値を高めるための投資に活用する方針であります。

また、自社株式の取得につきましても、今後、柔軟に対応をして参りたいと考えております。

2. 当社の株価水準について

株価については、市場における様々な要因によって形成されるものであるため、当社が直接、関与できるものではないと考えております。

ゲーム事業を中心に、当社のサービスやプロダクトで新しい価値を創造し、その結果として業績の向上や企業価値の増大を目指したいと考えております。

3. 株主優待制度について

より多くの株主の皆様当社株式を長期的に保有して頂くとともに、当社事業に対するご理解を一層深めて頂くことを目的として、保有期間に応じた優待品の進呈や当社オリジナルグッズを優待品とする等、株主優待制度を変更いたしました。

今後もより多くの株主様に長期的に安定して当社株式を保有頂くことを目的に改善や工夫を行って参りたいと考えております。

4. 業績予想の開示について

当社グループの主要事業であるゲーム事業においては、短期的に経営環境が大きく変化することから信頼性の高い業績予想や合理的な業績見通しを開示することが困難であると考えております。

5. IR 活動の方針について

関係法令及び証券取引所が定める規則に従い、正確、適時かつ公平に情報の開示を行います。当社は適時開示規則に該当しない情報についても、投資家の皆様の判断を助けられる情報についても積極的かつタイムリーにホームページ等を通して公平に開示していく方針です。

また、決算の内容を分かりやすく伝達するため、四半期毎に決算補足資料を公表するとともに決算説明動画を公開し、投資判断に有用と思われる情報について、積極的に発信して参りたいと考えております。

6. ゲーム事業のタイトル別売上高や KPI について

当社では個別タイトルごとの具体的な情報は非開示としており、売上高や KPI 等の情報開示については、差し控えさせていただきます。

7. 「メテオアリーナ・スターズ」の状況について

「メテオアリーナ」は、3月から長期メンテナンスを実施し、大幅なリニューアル・バージョンアップを行いました。6月にタイトル名を「メテオアリーナ・スターズ」としてリブート版をリリースいたしましたが、想定していた収益の確保が困難であると判断し、ソフトウェアの減損処理を行っております。

今後は、今まで以上に、コストコントロールにも重点をおく方針としており、経営リソースの適切な配分を実施して参ります。

8. 「OUTRANKERS」の状況について

「神ゲーつくりプロジェクト」を略して、仮のゲームタイトル「カミツクプロジェクト（仮）」として公表しておりましたが、正式タイトル名を「OUTRANKERS」といたしました。過去のヒットタイトルを手掛けたクリエイターが岡本吉起のもとに再集結し、開発を進めており、2025年のリリースにむけて事前登録も開始しております。来月、9月1日からは、クローズド・ベータ・テストを実施し、品質向上を目的にゲーム内バランスの調整やサーバー負荷の検証を行います。力をいれたプロダクトとなっておりますので、ご期待を頂ければと思います。

9. ゲーム事業のパイプラインについて

現状、2025年のリリースに向けて、開発を進めている「OUTRANKERS」がございます。その他の開発中プロダクトの詳細につきましては公表できる時期が参りましたらお知らせいたします。

10. M&A の方針について

M&A については、事業ポートフォリオの改善や事業規模を拡大するための手段として有効であると考えており、株式取得や事業買収のみならず、有力なパートナー企業との業務提携、経営資源の最適化や競争力強化を目的にした組織再編も積極的に検討をして参ります。

11. でらゲーとケイブの共同プロジェクトの予定について

現状、具体的に進捗しているプロジェクトはございませんが、それぞれの企業が有する強みを融合することで大きなシナジー効果を発揮することが可能であると考えられるため、有力な選択肢の一つであると考えております。

12. でらゲー社が保有するケイブ株式の取扱いについて

でらゲー社が保有する当社株式は、発行済株式数の約1割となっているため、既存株主や経営環境に与える影響は少なくありません。そのため相当な時期に処分を行うべく、方法につきましては慎重に検討を続けております。なお、保有株式の一部については、当社において買い取りを実施いたしました。

13. 高橋祐希氏の選任理由について

高橋祐希氏は、2019年8月に当社の取締役役に就任し、現在、取締役COOとして事業部門を統括する管掌取締役であります。当社事業に対する豊富な業務経験と見識を有し、当社グループの多角的な事業活動に関して、経営全般を統括する役割を適切に遂行できると考えており、代表取締役社長CEOとして取締役候補者といたしました。

14. 吉成夏子氏の選任理由について

吉成夏子氏は、現在、エンターテインメント企業において代表取締役を務めており、エンターテインメント事業に関する豊富な経験と深い経営知識を有しております。今後、M&Aを始めとする事業投資や新規事業を推進していくにあたり、広範な人的ネットワークを活用することで、グループ全体のシナジー効果を最大限に高められると考えており、取締役会長として取締役候補者といたしました。

15. 金子浩明氏および濱田剛知氏の役割について

金子浩明氏及び濱田剛知氏につきましては、社外取締役として外部の視点から助言や提言を行う役割を期待しております。取締役会の意思決定において経営の透明性や客観性を高め、中長期的な視点で経営戦略に関与し、企業価値の向上を図ることができると考えております。

以上